

原発震災に 向き合い続ける

—震災と原発事故後に私たちは何ができるのか

東日本大震災と原発事故は、ひとり一人の暮らしと権利にどのような影響を与えてきたのでしょうか。被害に向き合う活動を続けてきたゲストスピーカーと学生の経験に学びながら、原発震災後の個人と社会の課題を考えます。

日時：7月21日（日）

13:00 – 16:00（開場は 12:30）

事前予約不要・入場無料・学内駐車場利用可能

場所 宇都宮大学峰キャンパス 5号館 1階 5B11 教室

ゲストスピーカー

武藤類子（むとうるいこ）さん

福島原発告訴団団長・ひだんれん共同代表

疋田香澄（ひきたかすみ）さん

リフレッシュサポート代表・『原発事故後の子ども

も保養支援』（人文書院・2018年刊）著者

学生活動報告

齊田 雛（さいたひな）さん

国際学部3年生・学生団体「UP」メンバー

コメンテーター

佐藤春菜（さとうはるな）さん

多文化公共圏センター研究員・国際学部卒業生

お問い合わせ

多文化公共圏センター 028-649-5228（月～金 9:00～17:00）

清水研究室 nshimizu@cc.utsunomiya-u.ac.jp

基盤教育科目

「3.11と学問の不確かさ」
公開授業

<プログラム>

13:00-13:10

企画趣旨の説明

清水 奈名子

（国際学部准教授）

13:10-13:50

基調講演 1

「原発とわたし」

武藤類子さん

13:50-14:30

基調講演 2

「原発事故とジェンダー

～見えないものを可視化

する～」 疋田香澄さん

14:30-14:45

質疑応答

休憩（10分）

14:55-15:10

学生活動報告

「学生の私から見た

震災と経験」 齊田 雛さん

15:10-15:25

コメント 佐藤春菜さん

15:25-15:40

登壇者からの応答

15:40-16:00

質疑応答

終わりの挨拶

<主催>

清水研究室

宇都宮大学国際学部附属多

文化公共圏センター・福島原

発震災に関する研究フォーラム

本企画は JSPS 科研費

16K12368 の助成を受けています